



トレジャーハンターなっとくん

No. 6

ぼくは「なっとくん」。山口博物館のお宝(展示)をみつけて紹介するためにトレジャーハントをしているよ。砕けているこれは、銅でできた鏡？

お宝 No. 6



どうきょう
銅鏡 (柳井茶臼山古墳出土)

2F 考古・歴史展示室

だい1のナゾ

なぜこれを「鏡」というの？

- ① 見えているのは裏面で、表面はきれいに磨かれていたから。
- ② もともとは鏡がはめ込まれていたから。
- ③ 発見者が間違えたから。(実は盾)
(予想してから下を読もう)

どうきょう
銅鏡は錆びているようだね。昔は…？

Answer
(こたえ)

このお宝からは当時の銅鏡の様子がわかるよ。今みんなが見ている面、実は装飾が施された裏面なんだ。表面はつるつる

でピカピカ。しかも、作られた当時はより光り輝いてとても美しかった。ということで、答えは①だよ!

この鏡は、当時の力のある人が祭りや儀式などで使っていたと考えられているんだ。身だしなみを整える今の鏡の使い方とは違うね。

だい2のナゾ

この銅鏡があった柳井茶臼山古墳を明治時代に発見したのは誰？

- ① 学校の先生
- ② 子ども
- ③ 犬

(山口博物館に来て答えをたしかめてね!)